

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 プリヴェエ企業再生グループ株式会社
 コード番号 4233 URL <http://www.privee-g.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役(CEO) (氏名) 松村 謙三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 一馬

TEL 03-6230-0150

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,624	△10.1	△882	—	△855	—	△861	—
23年3月期第3四半期	7,368	△25.0	△703	—	△715	—	△1,095	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △863百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,080百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△24.89	—
23年3月期第3四半期	△31.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,129	6,432	54.8
23年3月期	11,031	7,118	58.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,549百万円 23年3月期 6,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、配当予想の見直しに関する開示につきましては、決算確定後から1週間を目処に行います。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、業績予想の見直しに関する開示につきましては、当第2四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から1週間を目処に、前第2四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	36,511,940 株	23年3月期	36,511,940 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,916,778 株	23年3月期	1,906,323 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	34,595,920 株	23年3月期3Q	34,608,376 株

当社は、平成23年7月15日付で株式10株につき1株の株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成23年7月15日付で株式10株につき1株に株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(当第3四半期連結会計期間の業績急回復について)

当第3四半期連結会計期間におきましては、以前より積極的に進めてまいりました経営効率化の成果が雑貨事業及び産業機器関連・雑貨製造事業において顕著なものとなっております。具体的には、主力製品である双眼拡大鏡「HAZUKIルーペ」の販売数量の拡大、防衛省向けの各種無線機用音響機器の納入実績の増加のほか、さまざまなコスト削減策を実施しております。

その結果、売上高24億72百万円（前第3四半期連結会計期間26億15百万円）と1億43百万円減少しているにもかかわらず、営業利益△43百万円（前第3四半期連結会計期間△74百万円）と31百万円改善しております。また、経常利益△43百万円（前第3四半期連結会計期間△80百万円）と37百万円も改善し、四半期純利益においては△51百万円（前第3四半期連結会計期間△2億88百万円）と2億36百万円大幅に改善しており、当第3四半期会計期間において業績が激的に回復しております。

(当第3四半期連結累計期間の状況について)

当第3四半期連結累計期間の売上高は、ロジスティクス事業において売上高が減少し、66億24百万円（前第3四半期連結累計期間73億68百万円）にとどまりました。また、コスト削減等の経営効率化を図った結果、営業利益は△8億82百万円（前第3四半期連結累計期間△7億3百万円）、経常利益は△8億55百万円（前第3四半期連結累計期間△7億15百万円）、四半期純利益は、△8億61百万円（前第3四半期連結累計期間△10億95百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

上場株式等投資事業におきましては、東日本大震災によって急落した株価が買戻し基調のなかで一時的に回復はしたものの、海外の経済指標の悪化、インフレ懸念等を原因に調整色を強めた状況が続きました。当社の投資先企業の株価も同様に推移したことにより前連結会計年度から引続き売上高はなく、商品有価証券運用損の計上などにより、セグメント利益は△47百万円（前第3四半期連結累計期間△9百万円）となりました。

企業再生関連投資事業における投資対象事業の状況は、次のとおりであります。

ロジスティクス事業におきましては、営業努力により既存荷主との取引拡大があったものの、物流量の減少の影響などを受け、外部顧客に対する売上高は36億87百万円（前第3四半期連結累計期間43億29百万円）となり、コスト削減を行いました。セグメント利益は△20百万円（前第3四半期連結累計期間1億7百万円）となりました。

雑貨事業におきましては、積極的な営業活動を推進しハズキルーペ等の主力製品について売上の確保、新規顧客の開拓を進めたものの、外部顧客に対する売上高は18億43百万円（前第3四半期連結累計期間18億72百万円）となり、売上拡大のための販売促進費や広告宣伝費等の増額により、セグメント利益は△4億17百万円（前第3四半期連結累計期間△33百万円）となりました。

産業機器関連・雑貨製造事業におきましては、既存製品の受注・売上確保に努めたものの、外部顧客に対する売上高は10億93百万円（前第3四半期連結累計期間11億65百万円）となりましたが、大幅なコスト削減を行ったことなどにより、セグメント利益は3億87百万円（前第3四半期連結累計期間1億81百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は101億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億1百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金等の減少であります。

負債合計は36億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円の減少となりました。主な要因は、短期・長期借入金の減少であります。

純資産は64億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円の減少となりました。主な要因は、四半期純損失8億61百万円の計上であります。この結果、自己資本比率は54.8%（前連結会計年度末58.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、業績予想の見通しに関する開示につきましては、当第2四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から1週間を目処に、前第2四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第1四半期連結貸借対照表日後に行った株式併合は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純損失を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純損失金額 △3円16銭

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において8億82百万円の四半期営業損失を計上し、過去5期にわたり営業損失を計上しております。これにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められません。

当社グループは当該状況を解消すべく、グループ経営の効率化、子会社における営業力の強化及び大胆な戦略と一層の効率化・合理化を行うなど業績改善に努めていく所存であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,271,405	1,124,638
受取手形及び売掛金	1,493,187	1,944,364
商品有価証券	477,093	129,506
たな卸資産	437,145	519,855
その他	501,101	585,177
貸倒引当金	△21,513	△28,331
流動資産合計	5,158,418	4,275,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,427,075	1,351,620
土地	2,626,701	2,626,701
その他(純額)	498,745	590,480
有形固定資産合計	4,552,523	4,568,802
無形固定資産		
のれん	761,160	718,788
その他	102,276	74,660
無形固定資産合計	863,437	793,448
投資その他の資産		
投資有価証券	68,512	63,683
その他	766,557	471,797
貸倒引当金	△379,607	△44,314
投資その他の資産合計	455,462	491,165
固定資産合計	5,871,423	5,853,416
繰延資産	1,220	813
資産合計	11,031,062	10,129,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,348	645,004
短期借入金	940,458	853,788
未払法人税等	132,250	81,655
引当金	43,788	56,391
その他	417,913	543,380
流動負債合計	2,231,761	2,180,219
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	451,980	385,389
退職給付引当金	237,926	233,008
その他	840,816	748,412
固定負債合計	1,680,725	1,516,809
負債合計	3,912,486	3,697,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,636,065	1,636,065
資本剰余金	29,147,482	29,147,534
利益剰余金	△23,962,500	△24,823,720
自己株式	△4,646	△5,341
株主資本合計	6,816,400	5,954,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,796	△3,812
土地再評価差額金	△401,492	△401,492
その他の包括利益累計額合計	△399,696	△405,304
新株予約権	286,845	464,272
少数株主持分	415,025	418,905
純資産合計	7,118,575	6,432,411
負債純資産合計	11,031,062	10,129,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,368,172	6,624,849
売上原価	5,947,730	4,787,161
売上総利益	1,420,442	1,837,687
販売費及び一般管理費	2,123,800	2,720,091
営業損失(△)	△703,358	△882,403
営業外収益		
投資不動産賃貸料	9,295	9,239
その他	20,015	53,771
営業外収益合計	29,310	63,011
営業外費用		
支払利息	32,800	26,603
その他	8,418	9,713
営業外費用合計	41,219	36,316
経常損失(△)	△715,266	△855,708
特別利益		
固定資産売却益	39,057	9,698
賞与引当金戻入額	13,177	—
子会社清算益	—	27,895
その他	4,298	—
特別利益合計	56,533	37,594
特別損失		
固定資産除却損	—	4,885
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,487	—
減損損失	71,008	3,925
その他	4,456	3,294
特別損失合計	136,952	12,106
税金等調整前四半期純損失(△)	△795,685	△830,220
法人税、住民税及び事業税	63,661	73,436
法人税等調整額	218,680	△46,127
法人税等合計	282,342	27,308
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,078,028	△857,528
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17,044	3,691
四半期純損失(△)	△1,095,072	△861,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,078,028	△857,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,336	△5,608
繰延ヘッジ損益	△155	—
為替換算調整勘定	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—
その他の包括利益合計	△2,492	△5,608
四半期包括利益	△1,080,520	△863,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,097,462	△867,016
少数株主に係る四半期包括利益	16,941	3,879

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	上場株式等 投資事業	ロジスティ ックス事業	雑貨事業	産業機器関 連・雑貨製 造事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	—	4,329,874	1,872,372	1,165,925	7,368,172	—	7,368,172
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,670	652	254,328	281,651	△281,651	—
計	—	4,356,544	1,873,024	1,420,254	7,649,824	△281,651	7,368,172
セグメント利益又は損失 (△)	△9,355	107,022	△33,861	181,559	245,365	△948,723	△703,358

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 △948,723千円には、セグメント間取引消去107,165千円、各報告セグメントに配分していない全社収益101,306千円及び全社費用△1,157,194千円が含まれております。全社収益は、グループ会社からの経営指導料及び業務受託収入であり、全社費用の主なものは、持株会社である当社の運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	上場株式等 投資事業	ロジスティ ックス事業	雑貨事業	産業機器関 連・雑貨製 造事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	—	3,687,267	1,843,682	1,093,899	6,624,849	—	6,624,849
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,028	588	526,156	546,772	△546,772	—
計	—	3,707,295	1,844,270	1,620,055	7,171,622	△546,772	6,624,849
セグメント利益又は損失 (△)	△47,570	△20,557	△417,139	387,249	△98,017	△784,386	△882,403

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 △784,386千円には、セグメント間取引消去1,272千円、各報告セグメントに配分していない全社収益204,571千円及び全社費用△990,230千円が含まれております。全社収益は、グループ会社からの経営指導料及び業務受託収入であり、全社費用の主なものは、持株会社である当社の運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。